



市の花
なのはな



市の木
さくら



市の鳥
ひばり

つくばみらいの

魅力発見

第10回

市内を歴史ある鉄道が走る〇〇〇

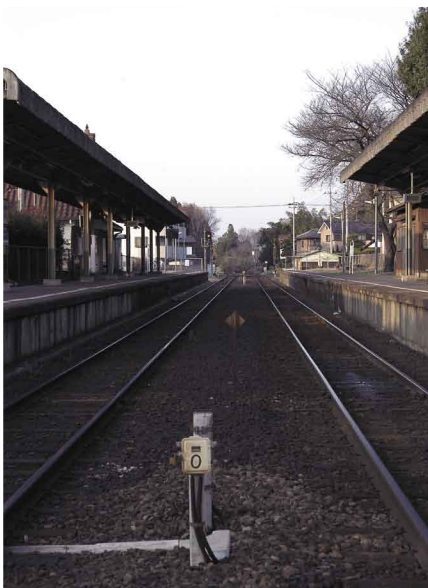
～ 関東鉄道常総線 小絹駅 ～

関東鉄道常総線は、取手駅から下館駅まで約51kmを結ぶ鉄道で、鬼怒川にほぼ平行して走っています。なんと1913年（大正2年、当時の名称は「常総鉄道」）から90年以上もの長い年月を経て運行されているという、たいへん歴史のある鉄道です。

常総線は、非電化の気動車で運行しており、取手駅～水海道駅間は複線ですが、水海道駅～下館駅は単線となっています。市内には「小絹駅」が設置され、小絹駅では、1日平均1,500人が通勤や通学の足として常総線を利用しています。

最近では、つくばエクスプレスの開業にあわせて快速が運行されるなど、利便性が向上し、TXへの乗り換えに利用する方も多くなっています。

一方、水海道駅以北は無人駅もあり、趣のあるローカル線の雰囲気が漂っています。常総線に揺られて、のんびりした列車の旅を楽しむのもまた良いのではないのでしょうか。



▲小絹駅の線路から下館方面を望む。



常総線の車両は、「気動車」。

電気ではなく、燃料（軽油）で走ります。

